

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業実績報告書

平成29年3月3日

和泉市長様

団体名 いずみ子ども文楽の会

代表者名 藤原 準

所在地

電話

平成28年5月16日付け和泉公民第425号で交付決定のあった支援金に係る事業の実績報告について、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第16条の規定により、提出します。

記

1. 事業費総額 470,108円 円
(うち、対象経費 470,108円)
2. 交付決定額 230,927円
3. 添付書類
(1) 事業報告書（様式第12号）
(2) 収支決算書（様式第13号）
(3) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業報告書

<p>事業の名称</p>	<p>いずみ子ども文楽</p>
<p>事業内容</p>	<p>(主な対象) 和泉市立北池田中学校区の大学生及び中高生（経験者）、いぶき野小学校人形浄瑠璃クラブに属する子どものうち、本事業への参加を希望する児童及びその保護者</p> <p>(事業の実施期間) 平成28年6月～平成29年3月</p> <p>(事業の実施場所) 主として和泉市立いぶき野小学校多目的ホール</p> <p>(事業内容) 今年度よりいぶき野小学校「文楽クラブ」が廃止され、専門性の高い「人形浄瑠璃クラブ」になったことに伴い、小学生の参加が減少してしまった。それを受けて、日々の朝練習や放課後の練習は取りやめ、原則として毎月第2土曜日午後3時から5時、第4日曜日9時から11時を練習日及び時間とし効率よく稽古を進めることとした。また、本会を卒業した中学生や高校生、時には大学生がスタッフとして応援に参加してくれることもあった。 外部指導者としては、従来通り国立文楽劇場の技芸員を招き、本物の文楽を手ほどきして頂く活動も大切にして、様々の上達レベルにある子ども会員のニーズに合わせた練習をして頂いている。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>(参加者・スタッフの人数の状況) 参加者数18人（うち小学生4人、中高生14人、スタッフ数5人（うち大学生2人）、外部講師技芸員5名</p> <p>(参加者の声) 日本の文化に興味を持つ貴重な機会になっている。 こういう活動は希少なので、是非続けていってほしい。 なくなりつつある文化をしっかりと守って行きたい。 柔軟な、子どもならではの表現に驚かされることがある。子どもに演技させる本事業ならではのと思う。</p> <p>(事業を実施したことによる目標達成状況及び効果) 今年度は三味線部門を希望する参加者が多かった。専門性が高い困難な分野だが、技芸員さんにご協力いただき指導が実現した。 新たな体制となり、例年通りの方法ではなかなか参加者が増えず、分野が偏ってしまったが、「子どもたちに本物の文楽を味わわせる」「文楽を演じる子どもたちの真剣な姿を通して、市民の文楽に対する価値観に警鐘をならす」という事業目的に変わりはない。参加人数や部門の多様性は例年より</p>

	<p>減少したが、応援して下さる方のご協力・ご厚意のおかげ、また過去の積み上げによる力により、一定の効果をあげられた。</p> <p>(今回の申請事業の反省点)</p> <p>前欄に述べたように、組織の大きな変更が予想される中で申請書提出になった為、事業がどのように進んでいくかの予測が難しく、苦戦した年度となった。</p> <p>発表の場をもつことが練習のモチベーションの向上に一番つながると考えるが、今年度は日程調整等の理由により、発表の機会がもてなかった。</p> <p>また、参加者の年代や参加者が習得する分野の幅が狭く、中高生の経験者がさらに上のレベルの技術習得を目指す一方、小学生が難易度の高い分野の習得を一から目指すという状況となり、練習内容の落差が気になった。</p>
<p>課題 (今後の方向)</p>	<p>以上のことから、今後の活動の方向性を考えると、今まで大切にしてきた地元小中学校との連携協力関係に頼るのではなく、少し年齢層をあげる形での活動の在り方を模索する必要がある。本会の名称である「子ども文楽」のイメージから少し離れてしまうことが危惧されるが、本会発足時には「子ども」として活動してきた会員が成長し、現在の活動を支えてくれていることから考えると、そうした方向に進んでいくことが望まれるのではないだろうか。</p> <p>練習日や練習時間帯の設定が難しくなるのが大きな問題になるが、技芸員さんをお招きする機会を大幅に減少させて、個人練習の機会を保証するような方向を目指すことも必要になるかもしれない。</p>

(添付書類) 事業内容のわかる写真4~5枚(写真は返却いたしません。)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支決算書

事業の名称： 和泉子ども文楽

1. 【収 入】 (単位：円)

項 目	金 額	積算根拠等
支援金	230,927 円	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入		
自主財源	239,181 円	寄付金、後援会援助金
合 計	470,108 円	

2. 【支 出】 (単位：円)

費 目	金 額	積算根拠等（数量、単価等）
報償費	360,000 円	指導謝礼(10,000 円×のべ 36 回)
消耗品費	6,580 円	三味線糸代
	6,328 円	プリンターインク代
委託費	97,200 円	三味線皮張替え
合 計	470,108 円	
対象経費	470,108 円	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

（添付書類）

- ・ 事業の経費に係る領収書（原本）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。